

5 指導計画

- (1) 題材名 考えて行動する消費者になろう
- (2) 題材の指導目標
社会の変化と消費生活及び消費者の権利と責任について理解させ、消費者として主体的に判断できるようにする。
- (3) 題材の評価規準

関心・意欲・態度	社会の変化と消費生活、消費者の権利と責任について関心を持ち、適切な意思決定や消費行動について考えようとしている。
思考・判断	消費者として主体的に判断できるようになるために、消費生活の現状と課題、消費者の権利と責任について考えを深めている。
技能・表現	社会の変化に伴う消費生活の課題について具体的な事例を調査・研究したり、発表したりすることができる。
知識・理解	消費生活の現状と消費者の権利と責任について理解している。

(4) 指導計画

時間	指導目標	基礎的知識	主な学習活動	意思決定のプロセス (ワークシート)	学習活動における具体の評価規準				
					関	思	技	知	評価規準 (評価方法)
購入の意思決定 1	・社会の変化に伴う消費生活の変化について、様々な問題が発生している現状を理解させ、消費生活の課題について考えさせる。	○現代の消費生活 ・キャッシュレス化 ・大量消費社会 ・流通過程の変革 ○意思決定と選択 ・主な販売方法 ・商品購入の意思決定のプロセス ・賢い消費者 ○確かな意思決定のために ・商品の情報収集 ・商品選択の要素	・現代の消費生活の特徴を理解し、課題について考える。 ・多様化する販売方法を知る。 ・確かな意思決定のために必要な要素を理解する。	・現代の消費生活の課題をまとめる。 ・商品購入時の自分の態度を振り返る。 ・商品選択の要素についてプラス・マイナス両面から考える。 ・今後の商品購入について考える。	○		○	○	○ ・現代消費生活の課題に気づいている。 ・積極的に活動をしている。 ・商品選択の要素を理解し、適切な判断をしている。 ・商品購入には主体的で適切な判断が必要なことを理解している。
消費者主体で 1	・消費者問題の発生の背景について考えさせる。	○消費者問題とは ・消費者問題の定義 ・消費者の権利 ○消費者問題の移り変わり ・消費者問題発生の背景 ・消費者問題の歴史の概	・消費者問題の定義を理解する ・時代に伴って消費者問題が変化していることを知る。	・消費者問題の歴史をまとめる。			○	○	○ ・消費者問題の定義を理解している。 ・時代に伴った変化を知る。

あるため		<ul style="list-style-type: none"> 要 ・今日的な消費者問題 ○若者に多い消費トラブル ・悪質商法 ・消費者としての主体的な態度 ・消費者問題相談件数 ・インターネット関連苦情相談の件数 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者に多いトラブルの内容を理解する。 ・インターネット関連のトラブルが増加していることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者としての自分の態度を振り返る。 ・トラブルの具体的な内容を理解する。 ・消費者としての今後の活動を考える。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に活動をしている。 ・正しく理解している。 ・積極的に自分の考えを出している。 	
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「消費者保護基本法」を基に、消費者の権利と消費者保護の必要性について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○消費者問題への対応 ・消費者保護基本法 ・消費者基本法 ・消費者基本法と整備・体制状況 ・国民生活センター ・消費生活センター ・製造物責任法 (PL 法) ・消費者契約法 ○欠陥商品への対応 ・消費者の知らせる権利 ・安全を求める権利 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者保護の歴史を知る。 ・消費者保護の施策を理解する。 ・消費者の権利を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者保護の施策をまとめる。 ・消費生活センターを知る。 ・権利を知ると同時に主体的な意思決定が必要なことを理解する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく理解し、積極的にまとめ活動をしている。 ・正しく理解し、今後の生活で活用しようとしている。 ・消費者としての自覚を持ち、今後の生活を改善しようとする態度が見られる。
消費者が生きる社会	1	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者は一人一人が権利の主体者としての意識を持ち、適切な意思決定や消費行動をとる責任があることを自覚させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○契約社会 ・契約の定義 ・契約における権利と義務 ・クレジットカードのしくみ (三者間契約) ○契約の成立と取り消し ・契約の成立 ・契約成立の条件 ・クーリングオフ制度 ・クーリングオフのチェックポイント ・クーリングオフの文面例 ・クーリングオフの期間例 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の定義を理解する。 ・契約成立の条件を理解する。 ・クーリングオフ制度を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの契約を調べる。 ・契約の定義をまとめる。 ・契約に必要な条件を考える。 ・葉書で文面を書いてみる。 ・今後の契約行為を考える。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の定義を理解し、生活の中の契約に気づく。 ・条件を正しく理解している。 ・条件を正しく理解している。 ・慎重な契約行為を心がける。
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の選択が企業や国民経済に及ぼす影響を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○消費者信用の増加 ・販売信用 ・消費者金融 ・消費者信用 ・消費者信用の利用状況 ・販売信用と消費者金融 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者信用の仕組みと問題点を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費者金融の情報を整理する。 ・消費者信用の仕組みを知り、問題につながる利用の仕方を考える。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・関心を持って積極的に取り組んでいる。 ・問題点を発見することができる。

		<ul style="list-style-type: none"> の仕組みと問題点 ○多重債務と対応策 ・多重債務 ・多重債務に陥らないための注意点 ・個人破産申し立て件数の推移 ・多重債務の解決方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・多重債務を理解する。 ・解決策を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように多重債務につながるのかを知る。 ・適切な利用を考える。 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・多重債務の危険性を知る。 ・積極的に活動している。
発言する消費者へ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者には権利の行使とともに、主体的に責任を持って意思決定できる能力が求められていることを認識させる。 ○消費者の責任 ・消費者の4つの権利 ・消費者の第5の権利 ・国際消費者機構 ・消費者の責任 ○自己責任時代の取り組み ・自己責任の原則 ・発言し行動できる消費者 ・消費者からの発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の4つの権利を知る。 ・主体的に責任を持って意思決定できる能力が求められていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の4つの権利と第5の権利をまとめる。 ・自分の消費生活を振り返り、消費者としての発言をする。 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に活動し、正しく理解している。 ・問題を見いだそうとしている。